スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

兵庫県 高砂市

自 治 体 名 ： 兵庫県 高砂市
担 当 課 名 ： 教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： 079-443-9054

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

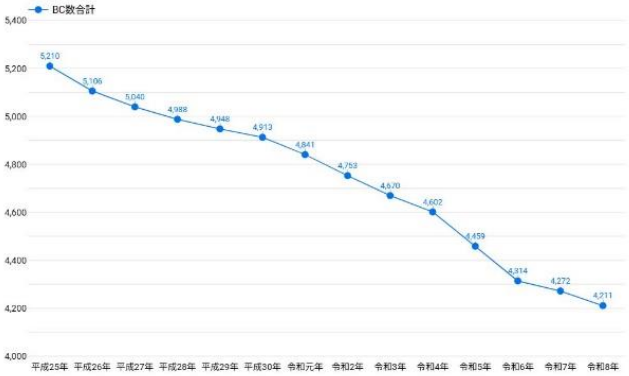
面積	34.38㎢
人口	84,302人
公立中学校数	6校
公立中学校生徒数	2,337人
部活動数	56部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

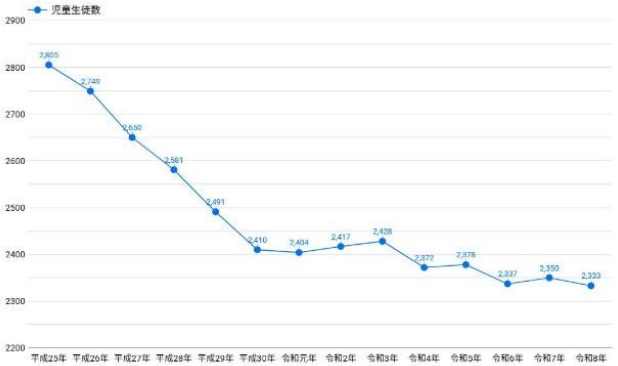
高砂市は、6校の公立中学校があり、生徒数2,337人で部活動は56部活動が活動している。少子化に伴い、部活動ごとの人数減少は進んでいる。令和６年度、3部活動が、人数不足のため他校と合同チームとして大会への出場をしている。人数確保のための課題を抱えている部も少なくはない。生徒にとっては自分のやりたい部活動がなく、あったとしても少ない部員数の部もあり、魅力が感じられない状況が生じる可能性がある。このため、部活動が衰退する恐れがある。また、少子化による学級数の減少により、教員数も減少する。顧問が配置できない事態になれば、学校は部活動数を削減せざるを得ない。このように教職員の部活動指導に係る負担が増しており、学校における働き方改革が求められている。

高砂市においても、「中学生にとってふさわしいスポーツ・文化芸術環境等をどのように実現するのか」の体制整備が必要である。

高砂市教育部と健康こども部で担当事務局をつくり、企画・運営・管理等を行う。事務の進捗状況により、他組織への移管、他の団体への委託も視野に入れて検討を行う。



高砂市立小学校児童数の推移



高砂市立中学校生徒数の推移

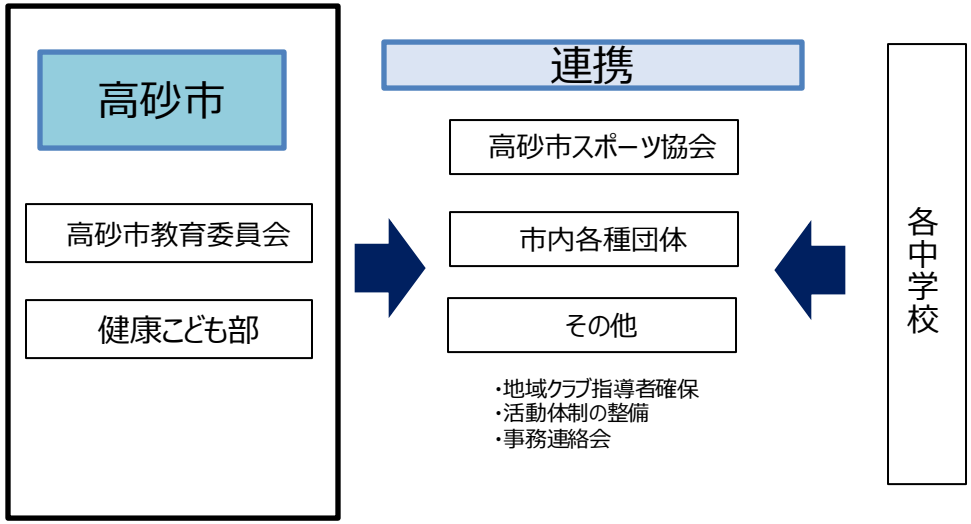
【課題】
現在の高砂市の出生数を鑑みると、今後減少傾向はますます大きくなることが想定される。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課…部活動地域展開の推進、学校との連携、スポーツ協会、各種団体との連携、
地域指導者の確保等
・教育総務課…学校施設の整備
・生涯学習課…各種団体との連携

◉首長部局

・文化・スポーツ課…スポーツ協会、各種団体との連携、公共施設との連携
・財政課…予算措置
・企画課…企画調整
・公共施設マネジメント室…学校施設の整備

年間の事業スケジュール

令和6年 4月 ｜ 令和7年 3月	サッカー部活動地域移行実証研究実施
令和6年 6月	第１回部活動の地域移行に関する庁内委員会の開催
令和6年 6月	第1回部活動の地域移行に関する検討委員会の開催
令和6年 9月	ソフトボール部活動地域移行実証研究の実施
令和6年 9月	中学校教職員アンケート調査
令和6年10月	各種団体への聞き取り調査
令和6年11月	第２回部活動の地域移行に関する庁内委員会の開催
令和6年12月	第２回部活動の地域移行に関する検討委員会の開催
令和6年12月	部活動地域展開研修会
令和6年12月	陸上部活動地域移行実証研究の実施
令和7年 1月	ソフトボール部・陸上部活動地域移行実証研究の実施
令和7年 2月	ソフトボール部・陸上部活動地域移行実証研究の実施
令和7年 2月	第３回部活動の地域移行に関する庁内委員会の開催
令和7年 3月	第３回部活動の地域移行に関する検討委員会の開催

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	6 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3 クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	21 人	全体の運営スタッフ数	5 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
サッカー地域クラブ	高砂市	サッカー	年50回（休日）	8:00～17:00時間内	1年19名 2年15名 3年17名	4月～3月	中学校運動場 高砂市スポーツ広場	8 人	5 人	実証研究中会費なし	中体連：部活動
ソフトボール地域クラブ	高砂市	ソフトボール	年6回（休日）	8:00～17:00時間内	1年5名 2年6名 3年0名	4月～3月	中学校運動場	4 人	5人	実証研究中会費なし	中体連：部活動
陸上競技地域クラブ	高砂市	陸上競技	年6回（休日）	8:00～17:00時間内	1年56名 2年48名 3年3名	4月～3月	高砂市陸上競技場	8 人	5人	実証研究中会費なし	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●各種スポーツ協会と連携して、啓発活動等を実施予定である。

2.実証内容と成果

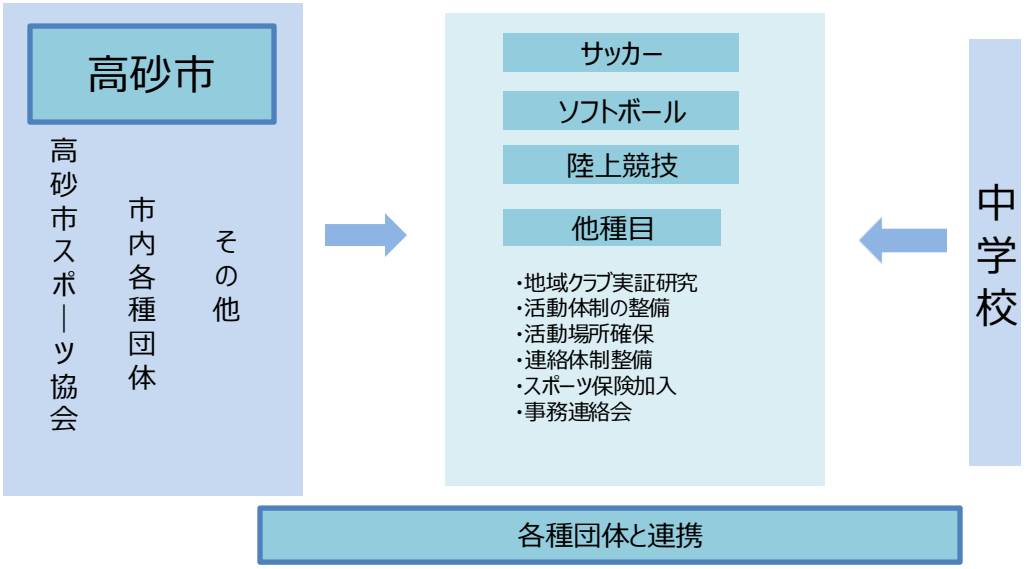
スポーツ庁

主な取組例

●地域スポーツクラブへの　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、ソフトボール、陸上競
運営団体名	高砂市
期間と日数	サッカー４月～３月（年５０回程度） ソフトボール･陸上競技（年６回程度）
指導者の主な属性	中学校教職員、各スポーツ協会委員
活動場所	中学校運動場、高砂市スポーツ広場、 高砂市陸上競技場
主な移動手段	自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	参加費なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●代表者

役割：活動における管理を行う

活動計画･報告等、生徒･保護者と連携、事務局と連絡調整

●地域指導者　３名以上

役割：活動において生徒への指導を行う

●スタッフ

役割：活動において、指導者の補助を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○部活動コーディネーターが中心となって、部活動地域展開の推進を行う。また、学校とスポーツ協会等の団体へ部活動の地域展開に関する連絡調整を行い、指導者の確保に努める。

○高砂市部活動の地域移行に関する庁内委員会、検討委員会を開催し、高砂市中学校部活動の在り方を検討する。そして、中学生にとってふさわしいスポーツに親しめる環境を構築する。

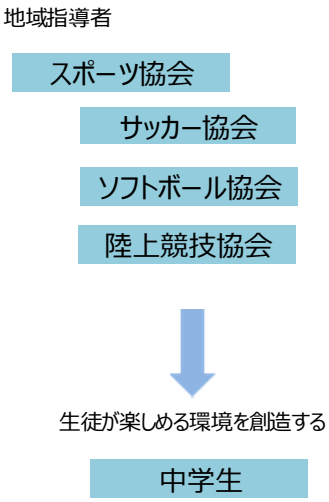
○運営体制の整備を行い、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

取組の成果

○事務局と学校、各種スポーツ協会が連携を図り、部活動の地域移行実証研究を進めてきた。部活動コーディネーターが、学校と各種スポーツ協会とのパイプ役を担い、関係者が相談を積み重ねてきた。地域展開への共通理解が深められた。

○サッカー部活動の地域展開として、市内２校のサッカー部と市内のクラブチームとサッカー協会が合同となって、実証研究を行ったことは、他の部活動へのモデルとなっている。

○サッカー部活動地域展開は、ソフトボール部、陸上競技部の地域展開へつながっている。



コーディネーターの具体的な動きの実績

【部活動コーディネーター】

・高砂市部活動地域展開推進計画を策定
・部活動地域展開におけるスケジュール策定
・学校と各種団体との連絡調整やヒアリング等を実施
・部活動地域移行に関する協議会の調整、計画等を実施
・各首長部局との連絡調整

今後の課題と対応方針

●現時点では教育委員会が事務局となって推進している。高砂市教育部と健康子ども部で担当事務局をつくり、企画・運営・管理等を行う。

●地域クラブへの展開に向けて、事務局と学校と各種スポーツ協会等の団体が連携を更に深める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・高砂市教育部と健康子ども部と連携を図り、スポーツ協会等の団体へ専門性のある地域指導者の協力を依頼する。
・各種スポーツ協会へヒアリング等を実施し、協力への意向を聞き取る。
・教職員等の兼職兼業の仕組みを含み、地域指導者による複数体制を構築する。
・事務局、学校、地域指導者、各種スポーツ協会代表が集まり、指導者連絡会を行う。

種目	資格有無
・サッカー ・ソフトボール ・陸上競技…など 高砂市スポーツ協会加入の２４団体	・日本スポーツ協会公認資格…など

取組の成果

・各種スポーツ協会等の団体と連携を図り、教職員と地域指導者が連携して生徒への指導にあたった。部活動指導に関わることを希望する教員は、兼職兼業の申請を行った。教員が関わることで、欠席などの緊急連絡や生徒同士のトラブルもなく、スムーズな活動ができた。また、教員だけでなく専門性の高い指導者がともに指導行うことで、生徒のニーズに合った指導となった。
・指導者連絡会を行うことにより、指導体制において、全体指導とグループごとの指導による細かな指導体制が構築できた。

今後の課題と対応方針

・指導者一人で指導することもなく、複数で分担してローテーションを組む必要がある。
・指導者の負担軽減のため、ボランティアスタッフを取り入れる。
・地域指導者に係る経費について、報償費についての検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○中学校長会において、部活動地域展開等の進捗状況を知らせるとともに、高砂市部活動改革の方向性を説明する。
○各種団体の会合に出向いて、高砂市の部活動地域展開の取組及び今後の方針等を説明する。
○各種スポーツ協会等の団体へ専門性のある地域指導者の確保を協力依頼する。

取組の成果

○部活動コーディネーターがスポーツ協会等の団体とのパイプ役を担い、地域指導者を確保するための役目を担っている。地域団体の方々が部活動の地域展開に参画することにより、地域とともに、子供を育てることができる。
○教育委員会が中心となり、他部局への部活動の地域展開への推進を行うことにより、部活動地域展開への意識が高まった。
○各種団体へ部活動地域展開を説明することにより、協力団体が増えている。

今後の課題と対応方針

○指導者確保には幅広いスポーツ団体との連携が必要である。
○今後は、多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる連携の強化が必要である。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

○自校に該当する部活動のない生徒が参加できる地域クラブの体制整備を図る。
○こどものニーズに応じた種目の活動ができる地域クラブの体制整備を図る。

各自治体の役割

○高砂市教育委員会
・地域クラブ運営、予算管理
・関係機関との連絡、調整
・理解促進に向けての広報
・諸謝金等の事務処理
〇高砂市健康こども部
文化・スポーツ課
・関係機関との連絡、調整

移動手段

○実証研究において、生徒の活動場所までの移動手段を検討してきた。保護者送迎と自転車利用としている。

事務局運営の方法

○高砂市教育委員会が中心に運営を行っている。
○部活動コーディネーターが関係団体等との連絡調整を行っている。
○予算については、教育委員会で予算を算出している。

取組の成果

○市内のサッカー部と地域のサッカークラブが連携し、指導者同士が活動計画を立てたり、活動後の反省会を設けたりした。詳細に打ち合わせを行ってきたので、生徒の活動はスムーズであり、練習内容が充実した。
○今後、部活動地域展開の分野を拡充、拡大する予定が立った。

今後の課題と対応方針

○学校に部のない学校の生徒も参加できる地域クラブとなるよう検討する。
○こどものニーズに応じた種目の活動ができる地域クラブの分野を検討する。
○平日の部活動との連携が課題である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

○学校と地域の各種団体等が連携して、中学生にとってふさわしいスポーツ活動の場をどのように実現するのかを推進する。
○専門的な指導ができにくい教員の負担軽減を行う。
○専門性の高い指導者を確保し、生徒のニーズに応じた指導ができる体制を整備する。

活動の詳細

参加人数	107 人	指導者数	7 人
属性	陸上地域クラブ		
具体的な内容	陸上部活動の地域展開として、市内６校の陸上部が一同に集まり、実証研究を行った。 休日の地域展開として、陸上競技場に集合し、陸上の各種目ごとに専門の地域指導者から指導を受ける。		
子供の声	● 他校の生徒と一緒に練習ができて、楽しかった。 ● 専門的に指導者から学ぶことで、意欲と技能が向上していると感じていた。		
関係者の声	● 陸上部は種目ごとに専門的な指導者が必要である。 ● 休日は全中学校から集まり活動はできる。		
運営経費	実証研究中は負担なし		

取組の成果

○事務連絡会を開催し、指導者が集まり、指導方法等の情報が共有できた。
○複数で指導することで、中心に指導する人も毎回ローテーションできる。
〇専門的指導者により、きめ細かな練習ができた。

今後の課題と対応方針

○どのクラブにおいても専門性の高い指導者が確保できるとは限らない。今後、人材確保のためスポーツ協会等の団体を中心に幅を広げていく取り組みを検討していく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○各学校の部活動の費用負担額を把握し、地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行なっていくよう検討する。
○地域クラブとして活動するにあたり、適正な費用負担額を算出する。
○公費負担と受益者負担について、実証研究を踏まえて検討する。

取組の成果

○実証研究において、部活動の費用負担の項目が顕著となった。地域クラブを運営するにあたり、受益者負担と公費負担の検討ができた。
○スポーツ活動費の保険料については、生徒の保護者等や指導者自らが負担する検討ができた。
○休日の地域指導者の年間の指導回数を設けることで予算額の見通しが立てられた。

今後の課題と対応方針

○地域指導者の報償費として、休日のみの指導で、予算化している。今後、休日・平日ともに地域展開したときに指導者への報償費の検討が必要である。

○受益者負担額が低廉な費用となるよう検討が必要である。そのためには、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○公共施設と学校施設を使用した実証研究を実施し、課題を把握する。
○生徒の安全を確保するため、活動場所までの移動手段を把握する。
○各部局と連携を図り、活動しやすい環境を構築する。
○部活動の学校施設利用や道具等の管理等について検討する。

取組の成果

○陸上部活動の地域移行に向けた取り組みでは、公共施設を利用した活動を実施した。将来的に継続して活動できる場所の検討ができた。
○道具類の準備について、指導者同士が連絡を取り合い、道具の共有ができた。

今後の課題と対応方針

○今後、地域クラブとして学校の施設を使用するにあたり、他の部活動との時間調整が必要となる。
○学校に部活動地域展開の活動が競合しないよう、事業趣旨の理解等を求める。
○地域指導者と学校が年間使用計画を話し合う必要がある。
○平日の地域展開を実施する場合、学校の施設使用規定の検討が必要である。各部局と連携を図り、活動しやすい環境を構築する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度より高砂市庁内委員会、検討委員会を設置し、部活動の在り方について検討してきた。高砂市としてスポーツ協会等の各種団体と連携を図りながら、活動団体を確保してきた。

新たな地域クラブ体制を構築するため部活動地域展開推進計画やロードマップ等を策定している。

令和６年度は、活動団体となる地域指導者を確保するため、地域の各種団体へヒアリング調査を実施してきた。今後も部活動地域展開に向けて推進していく。

●実施内容

令和５年度より部活動の実証研究として市内２校のサッカー部と地域のサッカークラブと合同で検証してきた。令和６年度はサッカーの実証研究として年間50回の休日の指導を地域指導者に委ね活動してきた。また、ソフトボール部・陸上競技の実証研究として、年間6回の実証研究を行ってきた。特に陸上部は市内中学校に部が存在しており、６校の生徒が集まって行った活動は今後の方針として検証に活かせることとなった。

●成果の評価

令和５年度からのサッカー部の実証研究の取組は、高砂市としてモデルとなっている。初年度は、数回の実証研究を実施し、指導者の必要人数や活動場所での課題、活動費用の問題等が把握できた。その課題を受けて、次年度、年間を通しての休日指導となった。このように、ソフトボール部・陸上競技部においても実証研究として、年間6回の実証研究を行ってきた。特に陸上部は市内中学校に部が存在しており、６校の生徒が集まって行った活動は今後の方針として検証に活かせることとなった。

来年度の実証研究に向けて、ひとつの方向性が見えてきた。

●実施にあたっての課題

実証研究の実施において、活動に係る費用の負担の項目が顕著となった。地域クラブを運営するにあたり、受益者負担と公費負担の協議を進めていく。

各種団体にヒアリングを実施して、指導者の確保へはつながっている。運営団体としての系統にまでは結び付いていない。さらなる各種団体等への趣旨説明が必要となる。

●今後に向けて

令和６年度に各種団体にヒアリングを実施し、中学校への活動協力を依頼してきた。今後は実証研究できていない部活動を学校と協力団体と連携を図るとともに、教職員の意向を聞き取り、高砂市としての部活動改革を進めていく。また、休日の地域展開から平日の地域展開に向けて推進していく。

今後、地域クラブとして運営するにあたり、学校や生徒、保護者の理解を得るための説明が必要となる。

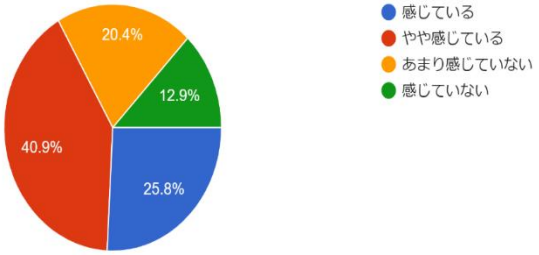
2.実証内容と成果

スポーツ庁

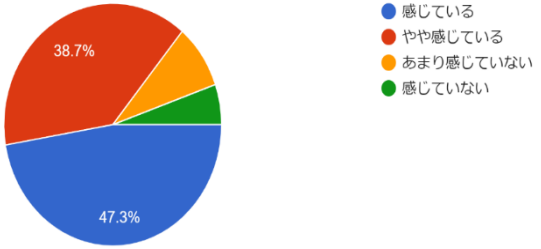
アンケート結果

●アンケート結果

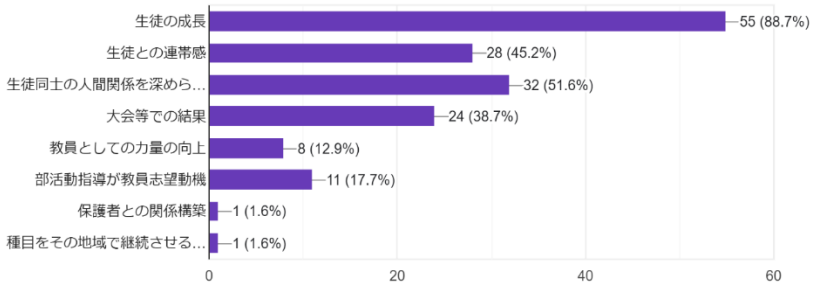
Q.あなたは、部活動指導にやりがいや楽しさを感じますか。
（93 件の回答）



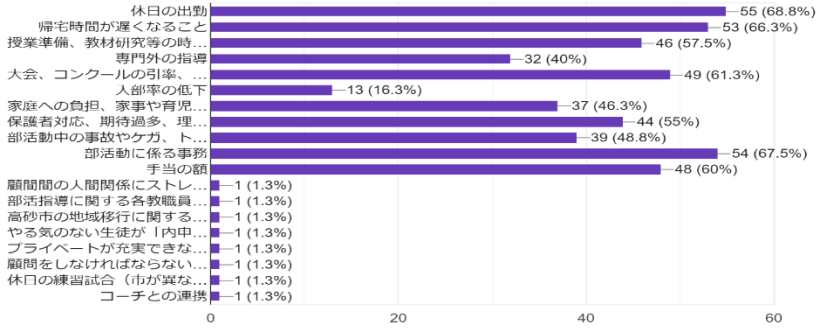
Q.あなたは、部活動指導に負担を感じていますか。
（93 件の回答）



Q.あなたは、部活動指導にやりがいや楽しさを感じますか。
（93 件の回答）



Q.部活動指導は、どのような負担を感じていますか。
（８０ 件の回答）



高砂市中学校教職員アンケートの結果抜粋
（実施期間：令和６年９月６日(金)～９月２０日(金)）

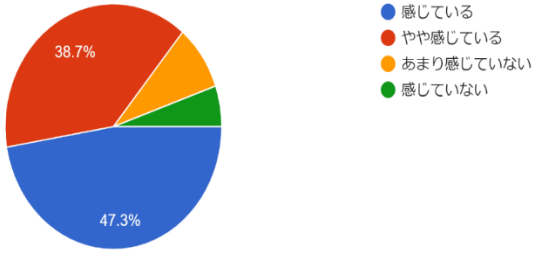
2.実証内容と成果

スポーツ庁

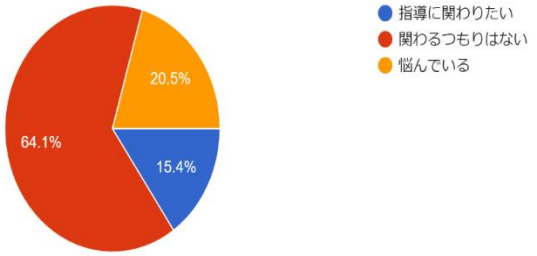
アンケート結果

●アンケート結果

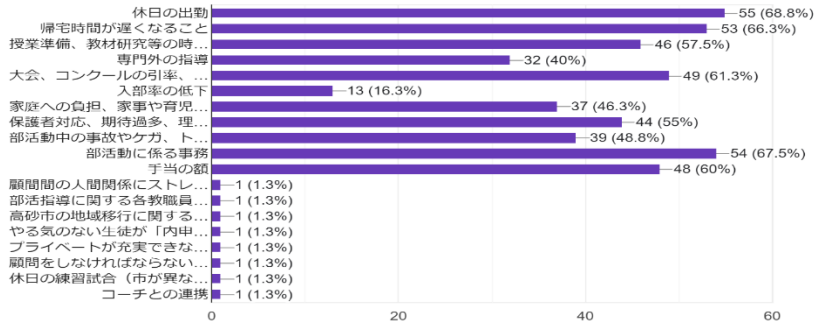
Q.あなたは、部活動指導に負担を感じていますか。
（93 件の回答）



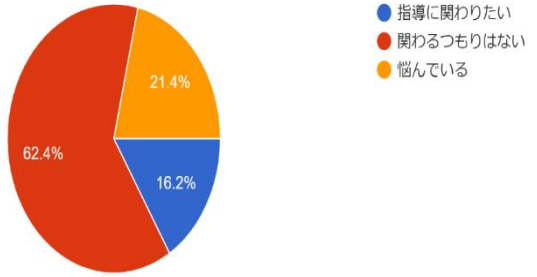
Q.休日の部活動にかわって地域クラブとなった場合、兼職兼業申請し、指導へ関わりたいですか。
（117 件の回答）



Q.部活動指導は、どのような負担を感じていますか。
（８０ 件の回答）



Q.部活動にかわって、平日を含め完全に地域クラブとなった場合、兼職兼業申請し、指導へ関わりたいですか。
（117 件の回答）



高砂市中学校教職員アンケートの結果抜粋
（実施期間：令和６年９月６日(金)～９月２０日(金)）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和６年度　令和７年度　令和８年度

庁内委員会において検討
検討委員会において検討

スポーツ協会等の団体へのヒアリング
指導者確保
実証研究

庁内委員会において方向性を協議
検討委員会において方向性を協議

学校現場との調整
アンケート調査
学校、生徒、保護者等へ地域展開の説明

休日・平日の部活動地域展開

休日・平日の部活動地域展開

<u>部活動地域展開準備</u>

・部活動コーディネーター配置
・部活動の在り方について方針検討
・庁内委員会による検討
・検討委員会による検討
・スポーツ協会、文化連盟、自治会、地域企業
　小、中学校ＰＴＡへ地域移行の趣旨説明
・学校、各種団体等との調整
　（活動団体及び指導者の確保）
・部活動の地域移行に係る実証研究
　サッカー部年間通じて休日５０回
　ソフトボール部、陸上部他各６回
　（課題把握、地域移行費用概算等）
・部活動地域展開に向けた研修
・地域連携移行活動に伴う予算化
・アンケート調査

<u>部活動地域展開段階的実施</u>

・部活動コーディネーター配置
・部活動の在り方について方針策定
・庁内委員会による協議
・検討委員会による協議
・学校、各種団体等との調整
　（活動団体及び指導者の確保）
・部活動の地域移行に係る実証研究（休日）
　サッカー部、ソフトボール部、陸上部
　年間通じて休日５０回
　他の運動部、文化部実証研究３０回予定
　（課題把握、地域移行費用概算等）
・部活動地域展開推進計画策定
・部活動地域展開の学校、生徒、保護者へ説明
・部活動地域展開に向けた研修
・地域連携移行活動に伴う予算化
・アンケート調査

<u>部活動地域展開段階的実施</u>

・部活動コーディネーター配置
・段階的に地域展開
・庁内委員会による協議
・検討委員会による協議
・地域展開連絡会の設置
・地域指導者の研修
・活動における運営団体の検討
・部活動の地域移行に係る実証研究
　運動部年間通じて休日５０回
　文化部年間通じて休日５０回
（課題把握、地域連携移行費用概算等）
・部活動地域展開に向けた研修
・地域連携移行活動に伴う予算化
・地域クラブガイドラインの策定

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域展開の推進に向けたロードマップ(案)

●スケジュール(案)

・検討委員会、各種団体との連絡会、研修会、地域説明会を開催する。

・実証研究を重ね、段階的に地域展開を図る。

